

第276号・2021年1月13日

発行・東北大学職員組合書記局

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1

内線 片平 (91) 5029

022-227-8888 (TEL)

022-227-0671 (FAX)

編集・コア編集委員会

コア

東北大学は

※5年で全員雇い止めの方
針を撤回せよ

※再雇用職員の所定労働
時間を勝手に減らさないで

新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、運動の大半を無期転換問題に注力してきましたが、中労委の勝利的和解を勝ち取ることができました。ご支援をいただいた多くの方々に対して御礼申し上げるとともに、現在仙台地裁で係争中である、雇止め無効を求めた仙台地裁への訴訟での勝利を、改めて決意する次第です。

学内では、期末手当の引き下げ、再雇用職員の所定労働時間の短縮、人員削減、サービス残業など、教職員の労働強化と待遇悪化が進み、諸問題が放置されています。今年は、気持ちを新たに、雇用と生活を守り、働きやすい職場にする活動に取り組みたいと思います。

今年も変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

執行委員長 片山知史

全大教第53回定期大会

たくさん仲間を迎え入れよう

執行委員長 片山知史さん

全大教の第53回定期大会（2020）が10月24日（土）初めてオンライン会議で開催されました。当初は、資格審査や代議員数の確認がスムーズにできず、どうなることか、と思っただのですが、参加者が慣れた後は、極めて順調に議事が進行しました。

主な議論としては、人勧（ボーナス0.05カ月分引き下げ）への対応、総長選考問題、コロナ対応およびそれに対する手当、新年俸制について、意見交換しました。

特に人勧については、運営費交付金で大学には満額分が配分されているので、引き下げれば大学に予算が残ること、複数の大学で引き下げ見送り・圧縮の方針であることが紹介されました。予算の厳しい地方大学でも工夫して待遇削減を回避しているのに、東北大学はどうなのか。団交で確認したいと思います。

ちなみに私からは、中労委和解の説明と、助教の待遇改善の必要性について発言しました。

大会最後に、特別決議「日本学術会議会員任命拒否という学問の自由と大学自治の侵害に抗議する」を採択して閉会しました。

なお、全大教の財政状況は極めて逼迫しています。組合員拡大が、東北大職組、全大教の組織維持に不可欠です。

<病院の組合員が多い大学の組合は強い>

案内を病院の医療職員・看護師に発送

<https://tohokudai-kumiai.sakura.ne.jp/wp/>

新しく組合紹介の動画を作りました

約1200名に直接チラシを送付し、組合の説明動画を視聴できるサイトを紹介します。

このサイトは、職種別に、組合の取り組みを紹介し、興味を持っていただくように作成したものです。特に医療職員については、「今の看護師の待遇は、組合の努力の賜もの」「私たちの活動について」「医療の現場から声アンケート結果」「給与表の見方」「私たちの望みをかなえる

ためには」「東京女子医科大学の組合の成果」の動画を視聴できるようにしています。現在、組合全体の動画もアップ中です。ぜひ皆さんも視聴ください。

医療職員の皆様向けの情報満載 職員組合の新サイト

東北大学職員組合
Tohoku University Staff Union

ホーム 組合概要 ブログ お問い合わせ

皆様ごとの問題を解決

業務上の問題や課題に対応できるよう、専用のサイトを作成しました。



教員に関する話題

作成中



医療職員に関する話題

現在更新中



一般職員に関する話題

作成中



その他職員に関する話題

作成中

ぜひ、職員組合へ

コンテンツ

1. 今の看護師の待遇は、組合の努力の賜もの：組合はなんのためにあるのか、どういう組織か
2. 私たちの活動について：看護師の待遇改善の歴史
3. 医療の現場からの声：2019年の看護師アンケートまとめ
4. 給与表の見方：給料の中身はどうなっているか
5. 私たちの望みをかなえるためには：
6. 他大学における組合の成果：東京女子医大病院でボーナスカットを阻止できたのは ...



アクセスはこちらから

東北大学職員組合

<http://tohokudai-kumiai.org/>

mail: info@tohokudai-kumiai.org

突然降ってわいた大学の方針に「最初の約束を守ってほしい」「20時間勤務で他の職員に迷惑がかかるのでは」「労働時間を勝手に削るのに、不利益変更でないってどういうこと？」など、戸惑い、怒りの声が聞こえてきます。

団体交渉

1月21日（木）10時～

聞いてない！！
再雇用職員の所定労働時間が削られるなんて

2020年度全大教合同地区別単組代表者会議

北海道・東北の各大学・高専から23名の参加

副執行委員長 黒瀬一弘さん

11月21日に北海道・東北合同地区別単組代表者会議がオンラインで開催されました。北大、北大水産、北教大、札幌・函館、室蘭工大、北見工大、弘前大、岩手大、山形大、福島大、旭川高専、東北大から計23名が参加しました。参加者同士の自己紹介のあと、中執より「2020年度秋冬の労働条件改善の取り組み」が報告されました。われわれに有益な情報としては、北教大による緊急時在宅勤務手当新設の提案があります。在宅での勤務が6時間以上命じられた場合は500円、3時間以上6時間未満の場合は250円支給されるとのことです。支給額の妥当性については議論の余地がありますが、われわれも積極的に当局に要求していく必要があります。

また、国家公務員の定年延長法案が2021年の通常国会に提出される予定であることを前提に、少なくとも国家公務員と同様の定年延長の実施、再雇用職員の待遇改善に関して各単組で交渉準備に取り掛かるよう中執から助言がありました。

次年度以降、本学では再雇用職員の所定労働時間が段階的に変更されることになるので、上記の助言にそった運動を検討してみる必要があるように思います。

全大教では、定年延長に対応する運営費交付金の増額を文科省に要求するとともに定年延長問題に関してWGで検討していくとのことなんです。その他に話題になったのは、職員の労働問題、パワハラ、裁量労働制、北大の総長問題、本学の中労委問題の和解成立などです。

北海道・東北地区で単組代表者会議をオンラインで開催するのは初めてでしたが、特にトラブルもなく、円滑な交流ができました。

2021年国民春闘討論集会

12月5日(土)、フォレスト仙台にて宮城県春闘共闘会議の主催による2021年国民春闘討論集会が開催され、東北大学職員組合からは2名が参加しました。

まず、全労連顧問の小田川義和氏による「『安倍政治』の転換と労働組合の役割」と題された講演があり、7年9ヶ月に及んだ安倍政権から菅政権へと引き継がれた新自由主義の弊害、このような弊害を生まない政治や社会を目指すための市民と野党との共闘、選挙における投票率アップを推進することの意義などについて、全国的な視点からお話を伺うことができました。

つづいて、2021国民春闘方針として、コロナ禍での雇用、経済の悪化を踏まえ、賃金の引き上げ、安定した雇用、安心して暮らせる社会、国民本位の新しい政治、労働組合運動の前進を柱とした提案がなされました。各組合からの発言では、東北大学職員組合としての「雇い止めを許さないとりくみ」に関して、千葉裕輝書記長より、大学側に県労委から改善命令がなされたことについて中労委からも和解勧告の形で事実上の支持が得られたことを報告しました。

他の組合からは、県が検討している宮城3病院統合の特異性と問題点、東陵学園(気仙沼市)による組合員に対する露骨なパワハラ、コロナ禍における大学

安心して暮らせる社会へ
労働組合運動の前進を

生協の窮状と賞与の大幅カットに抗する取り組みなどについて発言があり、解決に向けて継続的に注力すべき様々な課題が存在する事実が互いに確認・共有されました。

(執行委員

酒井義文さん

女性部からのお知らせ

- ※第30回宮城はたらく女性のつどい
日時：2月6日(土) 14時～
- ※国際女性デー第61回宮城県集会
日時：3月8日(月) 18時半～

ひきだし

留学生との

交流に思う事

理学部支部 井口弘章さん

私が所属する錯体化学研究室では留学生を多く受け入れており、最盛期は指導している学生9人のうち6人が留学生ということもありました。

早く結婚しろという親のプレッシャーや恋愛の悩みは日本人と同じで、思想や宗教は違っても平和を求める価値観は共通だとわかり嬉しく感じました。互いの違いを知ることがはもろん大切ですが、それだけでは相手は自分とは違うという対立観を生んでしまうのかもしれない。

東北大学は世界リーディング・ユニバーシティを目指していますので、日本語の書類作成などで留学生や教員が困惑することも減っていく・・・と信じます。

異文化交流というのは

は互いの違いを知ることだと思っていました。が、回を重ねていく中で、違いばかりではなく共通点にも目が行くようになりました。

響も相まって、世界中で様々な二項対立が生じ、それを煽る風潮も感じます。日本でも留学生に注がれる目が厳しくなっているようですが、こういう時こそしっかりとコミュニケーションを取って、留学生には東北大学に来て良かったと言ってもらえるように頑張っていきたいと思っています。

2021新春交流会

国会議員が2名も参加！

今年の新春交流会

来賓として来場され

（旗開き）はお酒なしでオンライン生中継しながらの開催となりました。会場には10名、オンラインで9名の参加で、なんと岡本あき子さん、高橋ちづ子さんが、開始から最後までオンラインで参加しました。現役国会議員が2名も参加する単組の集会は東北大職組だけではないでしょうか？

田嶋玄一副委員長からは大学情勢として、「故中曾根康弘」内閣・自民党合同葬儀や萩生田文科大臣の対面授業方針等に対する各大学の対応が紹介され、大学が「権力の意を迎える」姿勢になっていることが指摘されました。

野呂圭弁護士からは労働争議情勢として、県労委、中労委での勝利の報告、今年結審が見込まれる訴訟の論点の説明があり、勝訴への確信が述べられました。

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大が、ここまでひどくなるとは想像していませんでした。

感染者の少ない国と比べて、後手後手の政策、説得力のないご挨拶程度の国民への訴え、仮定の話に答えを差し控えるという無責任さ。

国のリーダーを選ぶのに無関心であってはいられないと思う人たちが増えていることに期待します。（編 M）



ご来賓、各支部からもオンラインで参加